
アストラムライン全線運転見合わせについて（お詫び）

- **事案概要** 令和8年2月27日（金曜日）20時25分頃、下り線（広域公園前方面）城北駅停車中の列車において、漏電が発生したため、電気の供給を停止し、全列車の運転を見合わせました。
現地で確認した結果、当該車両のパンタグラフが本来であれば絶縁体を介して車体に取り付けられているべきところ、直接車体の一部と接触する状態となっていました。そこで当該パンタグラフを取り外し、安全を確認した上で、同日21時52分に全線で運転を再開し、当該車両は車両基地へ回送入庫しました。
この影響により、全運行中の列車において、約1時間半の運転見合わせが生じました。

- **原因** 当該車両は前日の車両検査において、パンタグラフを取り外す等の作業を行いましたが、その際、当該パンタグラフの取付部分の締め付けが十分でなかった可能性が推測されるものです。

- **列車影響**

運休本数	16本
区間運休本数	1本
遅延本数	27本

- **影響人員** 約3,500人（上下線合わせて）
※今回の事案によるけが人は、ありません。

- **再発防止**
 - ・整備作業におけるダブルチェック体制の強化
 - ・整備作業手順の見直し
 - ・整備業務に従事する係員に対する教育・指導の再徹底

- **その他** 28日（土曜日）の運行開始までに、全車両のパンタグラフを緊急点検し、問題がないことを確認しております。

この度は、ご利用のお客様ならびに関係各位に多大なご迷惑とご不便をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

当社としましては、今回の事態を重大なものと受け止めており、再発防止策を確実に実行することにより、鉄道事業者としての責務である安全・安定輸送の確保に全力で取り組んでまいります。